



スマートフォンで
広報たじみを
持ち続ける!

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 制作時間 8:30~17:15
TEL 0572-22-1111 FAX 0572-24-3679
E-mail hisyokoh@city.tajimi.lg.jp http://www.city.tajimi.lg.jp/



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送信します
https://service.sugumail.com/tajimi



▲虎溪山徳林院襖絵「雲龍図」を前に制作の過程を説明する木全さん。モチーフの龍は木全さんのトレードマーク



▲ヤマカまなびパークで開催したライブイベントパフォーマンスの様子。ライブの時はその場で描く絵を決める



▲(右)映画「スターウォーズ」のYODAをモチーフに墨で描いた一枚。(左)駅北庁舎4階ロビーの陶壁。陶板に下絵を描き、手彫り作業、施釉までを自ら行った

SPECIAL TALK



輝く技術

多治見の名を背負い
海外で日本アートを
広げたい



木全靖陸さん
画家

幼い頃から絵を描くことが好きでした。大人になってからは、当時アメリカで流行っていたポップアートなどに影響を受け、会社勤めをしながら、趣味で絵を描いていました。制作過程を見せたいという思いから、ライブイベントパフォーマンスを行うようになったのもこの頃で、以来、日本国内、海外のさまざまな場所でさまざまなアーティストと共演するとともに展示会を開催してきました。

「家に龍が3つあると縁起がいい」という迷信があります。祖父と私は辰年生まれで、実家には龍の絵が飾ってありました。私が30歳の時祖父が亡くなり、祖父の代わりにと思い、龍を描いたのをきっかけに、本気で絵と向き合うようになりました。その頃は、線を重ねて模様を作っていきような作風でしたが、今は線をできる限り削り落とすことでより写実的な表現にしています。また、日本古来の素材を取り上げ、ユーモアを加えてポップに表現したり、逆に外国の素材を日本風にアレンジするなど作品の幅を広げています。

私の強みは、キャンバス以外にも掛け軸、襖絵、和紙、木板、陶壁など、さまざまな素材に作品を落とし込めることです。この特性を生かし、「多治見」の名を背負い、海外で日本アートを広げたいと思います。



人口と世帯数の動き
平成30年10月1日現在

総人口		
111,137人	(前月比)	-60人
男 54,036人	(前月比)	-34人
女 57,101人	(前月比)	-26人
世帯数		
46,450世帯	(前月比)	+27世帯

文化財み～つけた いぼ地蔵(延命地蔵)
笠原町神戸区(庚申堂前)

高さ123cmと大きな地蔵尊です。理由は分かりませんが、いつの頃からか「いぼ地蔵」として地域の民間信仰の対象となりました。横に「南無阿弥陀佛」と刻銘されています。万治3年(1660)の造立で、同年に笠原町栄・上原・向島・滝呂などに同一規模の地蔵が6躯残されており、同じ石工による彫像と考えられています。